

<霊的備え>

主よ あなたの道を私に知らせ あなたの進む道を私に教えてください。
あなたの真理に私を導き 教えてください。
あなたこそ 私の救いの神 私は あなたを一日中待ち望みます。(詩篇 25:4-5)

<理解の手引き>

ここで神は、もう一度「生めよ。ふえよ。地に満ちよ。」と創世記 1:28 と同じ祝福のことばを与えられました。人間の罪と失敗にもかかわらず、神のご計画に変更はありませんでした。罪の結果、人間には動物たちを支配する資格などないと思われたのに、主は再び人間が動物を支配することを命じられたのです。

また、神はここで、人の命の尊さについて語られます。何故、人の命は尊いのか。それは「人が神のかたちに造られたからです。」それゆえ、人の命を殺すものは、人をご自身のかたちに造られた神を侮辱し、神に反逆しているのです。このように考えると、殺人とともに自殺も罪といえます。命の尊さが軽んじられている今の時代にあって、私たちはもう一度、人が神のかたちに造られた事の意味を考える事が必要でしょう。

<考えてみよう>

(観察) 神が、ノアとその息子たちに命じられた事は、どのようなことでしたか？

.....
.....
.....

(解釈) 何故、人の命は尊いのでしょうか？

.....
.....
.....

(適用) 命の尊厳を知ることは、私たちの人生を生きる上で、どんな意味がありますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....